



問題3-1

平均熱伝導率が、 $k_A=1.3[\text{W}/\text{m}\cdot\text{K}]$ の材料で作られた厚さ $\Delta X_A=10[\text{mm}]$ の壁がある。この壁に、平均熱伝導率が、 $k_B=0.35[\text{W}/\text{m}\cdot\text{K}]$ の断熱材をつけ、 1m^2 当たりの熱損失を $1830[\text{W}]$ 以下にしたい。壁の内側の表面温度を 1300°C とし、断熱材の外側の温度を $30[^\circ\text{C}]$ と仮定するとき、必要となる断熱材の厚さ ΔX_B をもとめなさい。



問題3-2

一様な熱源 $q(\text{W}/\text{m}^3)$ が分布した厚さ $2L$ 、熱伝導率が、 $k[\text{W}/\text{m}\cdot\text{K}]$ の平板壁がある。片面の温度を T_1 [$^{\circ}\text{C}$]とし、もう一方の面の温度を T_2 [$^{\circ}\text{C}$]に保つとき、平板壁内での温度分布を導け。



問題3-3

長さが20m、直径3.2cmのステンレス鋼製針金に100Vの電圧がかかっている。針金の外表面温度が93°Cであるとき、針金の中心温度を計算せよ。ただし、ステンレス製の針金の熱伝導率を $k=22.5[\text{W}/\text{m}\cdot\text{K}]$ とし、鋼の比抵抗を $70[\mu\Omega\cdot\text{cm}]$ とする。

解法手順3-1

単位面積あたりの熱流量は、フーリエの法則より

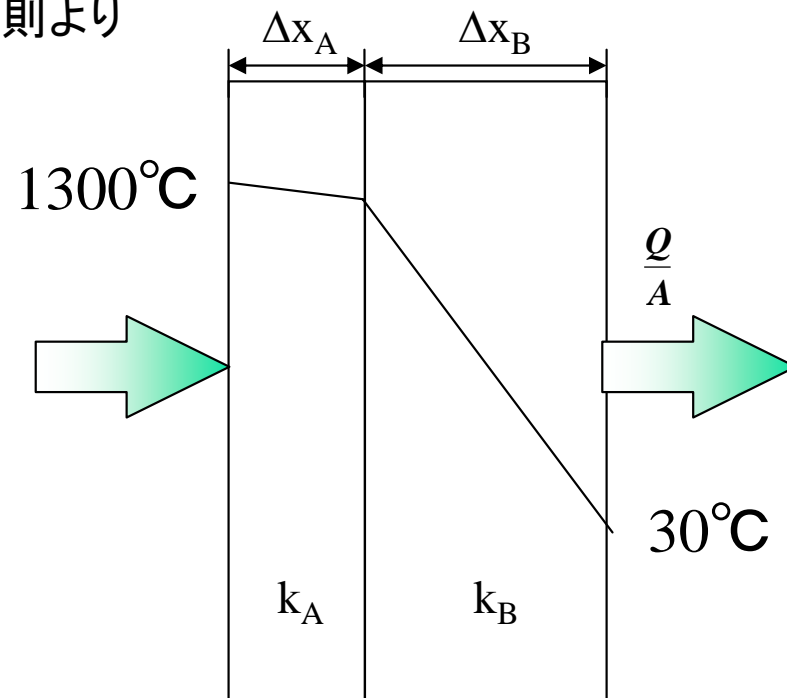
$$\frac{Q}{A} = \frac{T_1 - T_3}{\Delta x_A / k_A + \Delta x_B / k_B}$$

これを Δx_B に対して解けば、元の式は

$$\Delta x_B =$$

ゆえに必要な断熱材の厚さは、

$$\Delta x_B = \quad [cm]$$



回答3-2の解法の方針

温度分布を支配する式は、熱伝導方程式より

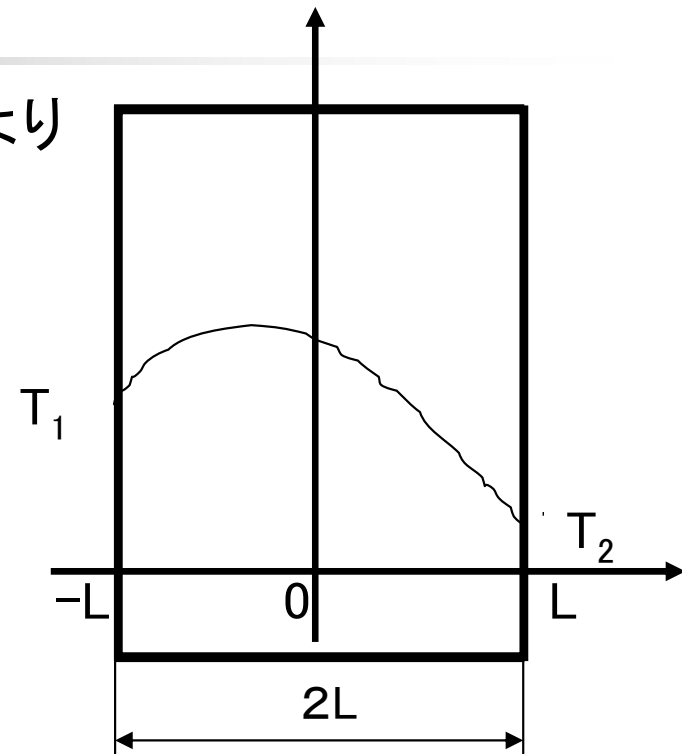
$$\frac{d^2T}{dx^2} + \frac{q}{k} = 0$$

境界条件は

$$x = -L \quad : \quad T = T_1$$

$$x = L \quad : \quad T = T_2$$

ゆえに解は



問題3-3解法手順

導線の単位体積当たりの発熱量は、オームの法則より

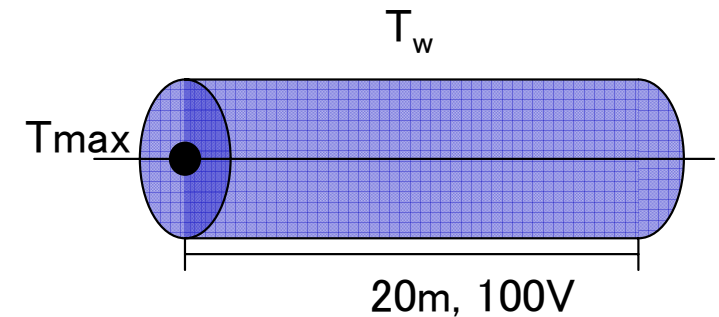
$$\dot{q} = \frac{E^2}{V \cdot R} = \frac{E^2}{\pi r^2 L} \cdot \frac{\pi r^2}{\rho L} = \frac{E^2}{\rho L^2}$$

熱伝導方程式の解より、中心温度 T_{\max} は

$$T(r) = T_{\max} - \frac{\dot{q}}{4k} r^2$$

より、以下の式から求められる

$$\begin{aligned} \therefore \frac{r^2 \dot{q}}{4k} &= \frac{r^2 E^2}{4k \rho L^2} = \\ \therefore T_{\max} &= \frac{r^2 \dot{q}}{4k} + T_w = \end{aligned}$$



単位体積当たりの発熱量 : $\dot{q} = W / V$

電力 : $W = \frac{E^2}{R}$

体積 : $V = \pi r^2 L$

電圧 : E

抵抗 : $R = \rho \frac{L}{\pi r^2}$

長さ : L

半径 : r

回答3-1

単位面積あたりの熱流量は、フーリエの法則より

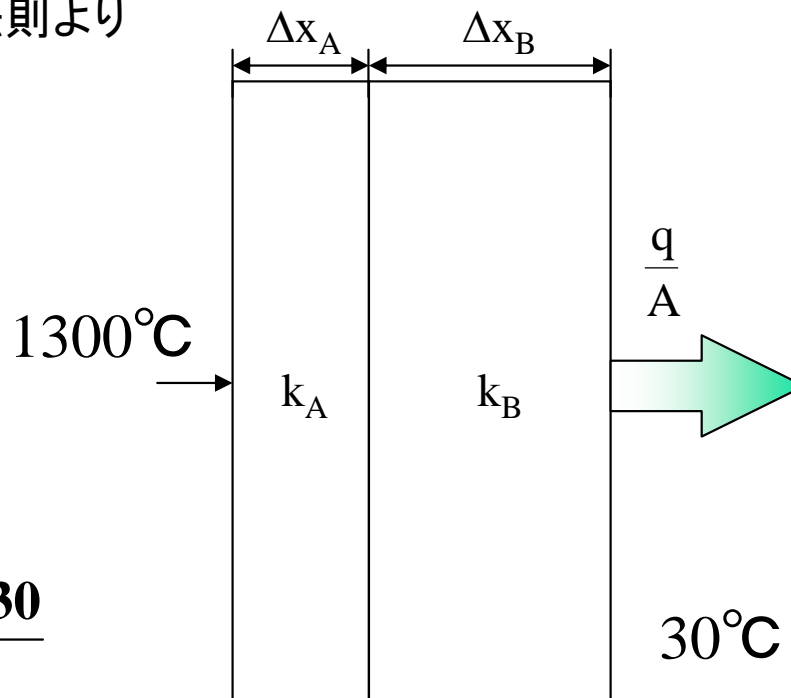
$$\frac{Q}{A} = \frac{T_1 - T_3}{\Delta x_A / k_A + \Delta x_B / k_B}$$

これを Δx_B に対して解けば

$$\Delta x_B = -\frac{k_B}{k_A} \Delta x_A + k_B \frac{T_1 - T_3}{q/A}$$

ゆえに必要な断熱材の厚さは

$$\begin{aligned} \Delta x_B &= -\frac{0.35}{1.3} \cdot (0.01) + (0.35) \cdot \frac{1300 - 30}{1830} \\ &= 0.240[m] \\ &= 24[cm] \end{aligned}$$



回答3-2

温度分布を支配する式は、熱伝導方程式より

$$\frac{d^2T}{dx^2} + \frac{q'}{k} = 0$$

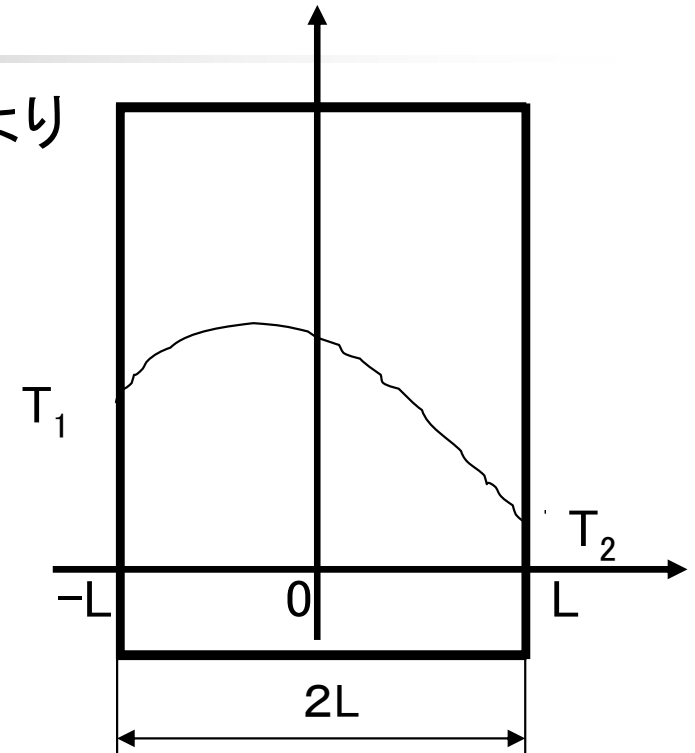
境界条件は

$$x = -L \quad : \quad T = T_1$$

$$x = L \quad : \quad T = T_2$$

ゆえに解は

$$T = -\frac{qL^2}{2k} \left(\frac{x}{L} \right)^2 + \frac{T_2 - T_1}{2} \left(\frac{x}{L} \right) + \frac{T_2 + T_1}{2} + \frac{qL^2}{2k}$$



回答3-3

導線の単位体積当たりの発熱量は、オームの法則より

$$\dot{q} = \frac{E^2}{RV} = \frac{E^2}{\pi r^2 L} \cdot \frac{\pi r^2}{\rho L} = \frac{E^2}{\rho L^2}$$

熱伝導方程式の解より、中心温度 T_0 は

$$\therefore \frac{r_0^2 \dot{q}}{4k} = \frac{r_0^2 E^2}{4k \rho L^2} = \frac{(1.6 \times 10^{-2})^2 (100)^2}{(4) \cdot (22.5) \cdot (70 \times 10^{-8}) \cdot (20)^2} = 101.6$$

より、以下の式から求められる

$$T(r) = T_{\max} - \frac{\dot{q}}{4k} r^2$$
$$\therefore T_{\max} = \frac{r_0^2 \dot{q}}{4k} + T_w = 101.6 + 93 = 194.6 [^{\circ}\text{C}]$$

